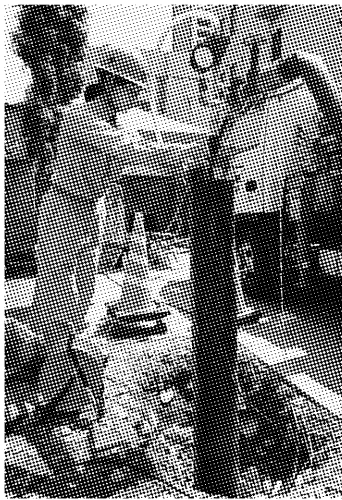


## 日さく、地域住民に「防災井戸」



掘削後の防災用井戸  
で揚水実験をする日  
さくの社員

### 本社敷地内駐車場に設置

都市の一角で、非常時には地域住民へ開放可能な「防災井戸」が、若林直樹社長、048・644・3911は、本社敷地内の駐車場に「防災井戸」を設置した。社員からの設置提案と地元自治会のニーズが合

**防**  
BOSAI  
INDUSTRY  
**災**

致し、町内で防災訓練が開かれる11月3日にお披露目する予定だ。

### 自治会ニーズ・社員提案合致

案による。「さく井工事が間近で見られ社員への対応で地域貢献にもつながる」との理由が社内提案制度で評価され、採用となった。総工費は約200万円。井戸口径は15センチ、深さは30センチ。陸上には出力400ワット、使用電力100ワットのホームポンプを置き、毎分20リットル（日量約30リットル）のくみ上げが目標。掘削を終えて揚水試験を行った。

若林社長は「井戸は東日本大震災などでも強さが立証された。自治会には入ったばかりだが、住民の安心確保のお役に立ちたい」と語る。（さいたま）